

2. 指標設定

成果指標	指標名	社会教育の推進		目標年度	指標の設定理由				
	数値	—			H27	総合計画／後期基本計画において、基本施策(1-3-3)の重点施策としているため			
活動指標	指標	a	郷土の先輩特別授業	b	子ども郷土芸能大会	c	成人式	d	次代を担う「豊後大野っ子」を育てる市民のつどい
	数値	目標	1回7校／年	目標	1回／年	目標	1件／年	目標	1回／年

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
社会教育の推進		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 郷土の先輩特別授業	回	1回 100.0%	1回 100.0%	1回 100.0%
b 子ども郷土芸能大会	回	—	1回 100.0%	1回 100.0%
c 成人式	件	1件 100.0%	1件 100.0%	1件 100.0%
d 次代を担う「豊後大野っ子」を育てる市民のつどい	回	1回 100.0%	1回 100.0%	1回 100.0%

4. 課題と対応

課題
電子ゲームの普及により、スポーツ少年団等の活動以外は実体験活動が不足し、運動能力の低下はもちろん痛み苦しみ喜び達成感等を体感として得る機会が少なくなっている。
対応（改善点等）
各種の体験活動をふまえた事業を通して、達成感を得たり自信を身に付け、生きる力を育む。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

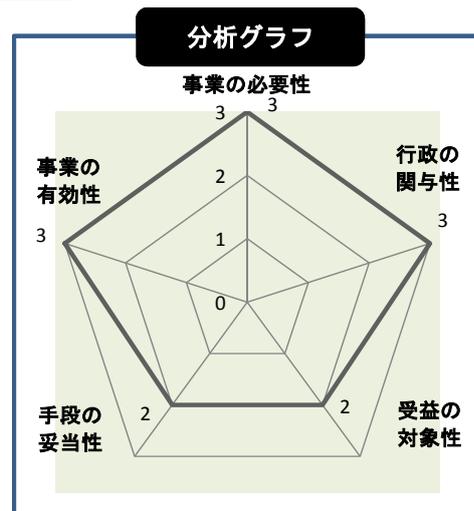
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		2,083	2,507	3,805	4,932
うち経常		971	1,160	2,698	3,441
財源内訳	国費				
	県費	392	488	458	708
	市債				
	その他	273	819	2,309	2,972
	一般財源	1,418	1,200	1,038	1,252
うち経常		971	793	740	897
事業費に係る人件費		9,417	8,974	9,546	7,984
事業費に係る人役		2.19	2.09	2.19	1.80

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
青少年健全育成のため、多様な体験活動及び発表の場を提供するため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 将来の明るい社会構築のため、次世代を担う青少年健全育成事業が必要である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 行政が責任を持った取り組みが必要のため。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	2 放課後子ども教室事業は緒方小学校に限定されているため。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2 児童生徒農業体験活動事業への参加者が伸び悩んでいる。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 予定通りの事業を実施し、一定の効果を上げることができた。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	課題に対応するとともに、効果的な事業実施に取り組むこと。